

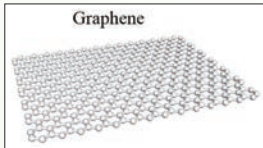


■コース生(第3期生)の活動報告



内田 勇気

総合理工学府
 量子プロセス理工学
 一貫制博士1年(修士1年)



現在私は原子膜物質に関する研究を行っています。原子膜物質とは厚みが原子レベルの物質であり、その薄さに由来する多くの優れた性質を有しています。その中でも炭素で構成されたグラフェンは非常に薄いにも関わらず、機械的に強靱な性質を持っています。私は学部生の頃、このようなグラフェンの魅力的な性質を知り、この分野について深く研究したいと思い、本大学院に進学しました。原子膜物質の多様なアプリケーションを発想し、基礎的な物性の面白さを知る度、これらの物質が未来を切り開く可能性があると感じながら研究に励んでいます。しかし研究を進めるうちに、二年間の研究期間では短すぎると思ひ始め、博士号取得を検討し、グリーンアジア国際戦略プログラムに入コースすることを決意しました。本プログラムでは経済的な支援が充実しています。私にとって進学するうえで経済的な障害があったので、この支援制度が私の進学を後押ししました。さらに海外研修や留学生がとの交流もあり、異なる分野や文化を知ることができます。このような国際力を身につけられるチャンスがあったことも、本プログラムに入るきっかけでした。

本プログラムを通して、幅広い知識、感覚を身につけ、第一線で活躍できる研究者を目指して、日々努力してまいります。



崎山 晋

総合理工学府
 量子プロセス理工学
 一貫制博士1年(修士1年)



昨年10月からグリーンアジア生として採用され、4ヶ月が経ちました。これまでに、英語での環境問題についてのディスカッションや講義に参加し、今まで経験できなかった知見を得ることができています。それと同時に外国人学生のバイタリティの高さに圧倒され、このままではいけないという危機感を覚えるようになりました。今後の研究や国際問題に関するディスカッションの際には積極性と事象を論理的に説明することが自分への課題です。これらのことをグリーンアジアのカリキュラムでしっかりと身につけていきたいと思っています。

現在、私は藤田研究室で有機ELや有機太陽電池などの有機半導体デバイスの高性能化について日々研究を行っています。近年、この有機エレクトロニクスの分野は研究が活発に行われており、熱電変換やスイッチングデバイスなど応用は多岐にわたります。所属する研究室の枠に囚われないラボレーションやブラクティクススクールでは有機エレクトロニクス以外での幅広い範囲の知識を得たいと考えており、非常に楽しみに思っています。最後にこういった素晴らしい環境を提供してくださる先生方やスタッフの方々に感謝し、グリーンアジアの求める人物像になれるよう精一杯努力に励みたいと思います。



佐藤 祐太

総合理工学府
 量子プロセス理工学
 一貫制博士1年(修士1年)



現在、リソグラフィ光源用プラズマの測定を主研究テーマとしています。リソグラフィ光源とは、半導体集積回路を作る際に必要となるもので、現在の技術では限界を迎えているため次世代の光源の実用化に期待が集まっています。その他にも大阪大学との共同研究で宇宙の誕生に関する研究も行っており、結果が出るのが楽しみです。

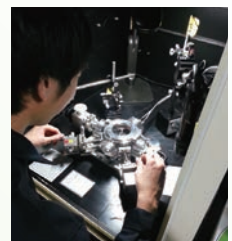
私は現在の研究を通して、世界で活躍できる研究者を目指しています。今まで電気工学のみを専門として学んでいましたが、世界で活躍するための知識が欲しいと思い、このグリーンアジア国際戦略プログラムに応募しました。最先端の実験を行えていること、自分の領域外の分野について学べていること、様々な交流により視野が広がっていることに喜びを感じています。我々日本人学生は、多くの留学生と交流することができます。宗教の違いや文化の違いを通して得られるものは自分が成長するための糧となっており貴重な体験ができていると実感しています。

今後は世界で活躍するという目標を念頭に置き、研究や授業、フィールドワークなどに全力で取り組んで行きたいと考えています。卒業するころには自分がどれ程成長できているか楽しみです。研究や授業に追われて辛いと思うこともありますが、何事も楽しんでやっていきたいと思っています。



竹市 悟志

総合理工学府
 量子プロセス理工学
 一貫制博士1年(修士1年)



私は現在、九州大学大学院総合理工学府量子プロセス理工学専攻に所属しており、超ナノ微結晶ダイヤモンドを用いた半導体に関する研究を行っています。入学前は佐世保工業高等専門学校に所属しており、光学薄膜に関する研究を行っていましたが、太陽電池に興味があり、半導体の道に進むことに決めました。

趣味はスポーツ、ゲーム、読書、映画、将棋、カラオケなどたくさんありますが、特にバスケットボールが大好きです。月に2回、学校の近くの体育館を借りて友達や先輩方とバスケットボールを行っています。

今後の抱負としては、英語に力を入れていきたいと考えています。高専出身ということもあり入学前までは英語に触れる機会がほとんどありませんでしたが、私の研究室にはエジプト人が3人所属しており、入学後は英語で会話する機会が多くなりました。入学した当初は全く話せませんでしたが、現在は少なながらもコミュニケーションを取れるようになってきました。しかし、単語がわからず、言葉に詰まることが多々あるので、今後は語彙力を増やすことに力を入れていきたいと思っています。

大学院に進学して、環境が大きく変化してまだまだ慣れないことも多いですが、ひとつひとつ適応していきたいと思っています。